

保護者様

名古屋市立桜田中学校長
松浦良治

学校評価アンケートの結果から

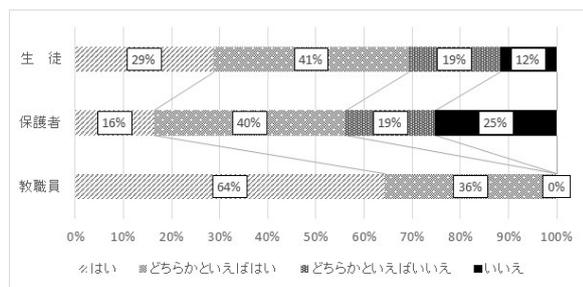
余寒厳しき折、保護者の皆様には、ご健勝のことと存じます。また、日頃は、本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

先日は、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。生徒、保護者、職員のアンケート結果と考察をお伝えさせていただきます。なお、学校ホームページ (<http://www.sakurada-j.nagoya-c.ed.jp>) にも掲載いたしますので、ご覧ください。

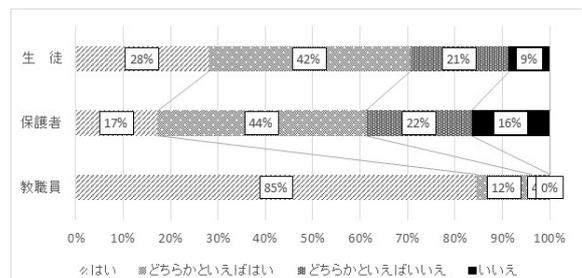
質問1

生徒：わたしは、学校努力点「学びの笑顔と温かな心があふれる生徒」を覚えている。
保護者：わたしは、学校努力点「学びの笑顔と温かな心があふれる生徒」を知っている。
教職員：わたしは、学校努力点「学びの笑顔と温かな心があふれる生徒」を知っている。

平成29年度



平成30年度

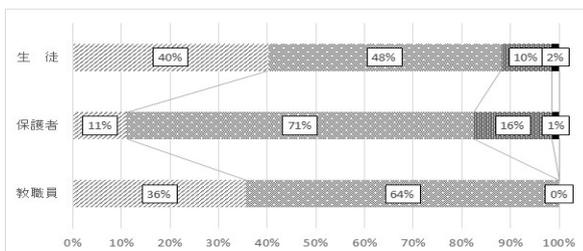


☆ 生徒の認知度は、昨年度10%程度上昇しましたので、今年度はほとんど変わりありませんが、保護者の方々の認知度は5%程度アップしました。本校の努力目標である学校努力点を保護者の皆様に周知していただけるように努めていきたいと思ひます。

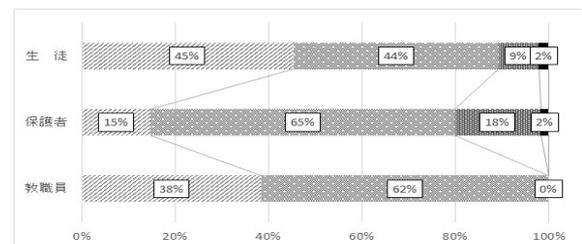
質問2

生徒：授業では、「分かった」「できた」と実感できることがある。
保護者：桜田中学校は、生徒が「分かった」「できた」と実感できる授業を行うように努めている。
教職員：わたしは、授業で生徒が「分かった」「できた」と実感できるように工夫している。

平成29年度



平成30年度

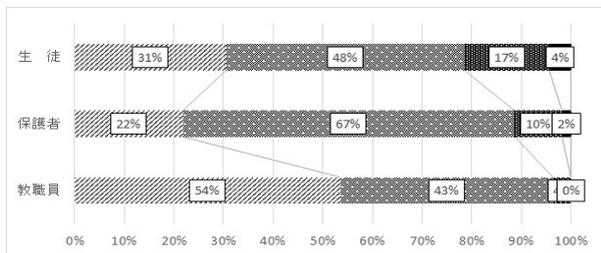


☆ 全体的には、昨年度とほぼ変わらない数値を示していますが、「分かった」「できた」という実感があると積極的に「はい」と答えている生徒の割合が5%程度増えています。今後も指導法の工夫をし、「分かった」「できた」と感じる生徒がもっと増えるような授業を行っていきたく思ひます。

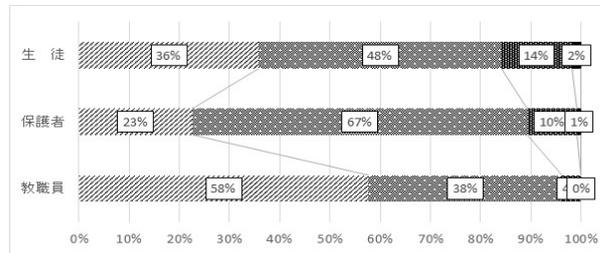
質問3

生徒：先生は、わたしたちの気持ちを聞いてくれ、理解してくれる。
 保護者：桜田中学校は、一人一人の生徒の声に耳を傾け、生徒の気持ちを理解し、生徒に寄り添った指導を心掛けている。
 教職員：わたしは、生徒指導の場面等で生徒の声に耳を傾け、生徒の気持ちを理解するように努めている。

平成29年度



平成30年度

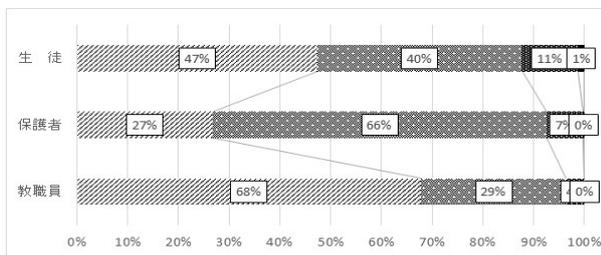


☆ 昨年度とほぼ変わらない割合になっています。より一層、生徒が気持ちを打ち明けやすい環境・関係づくりを目指して努力していきたいと思ひます。

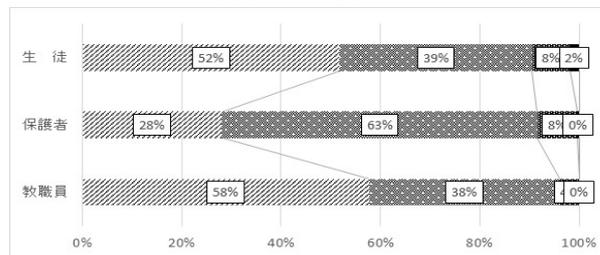
質問4

生徒：先生は、良いことや努力したときに褒めてくれる、悪いことをしたときには、きちんと指導してくれる。
 保護者：桜田中学校は、良いことや努力したときに褒め、悪いことをしたときにきちんと指導するように努めている。
 教職員：わたしは、良いことや努力したときには褒め、悪いことをしたときには、きちんと指導している。

平成29年度



平成30年度

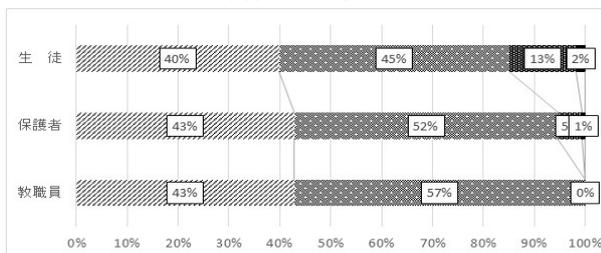


☆ 昨年度、生徒の「あてはまる」割合がわずかに増えましたが、今年度はさらに5%増えました。今後も、生徒の姿をよく見るとともに、善悪の判断をきちんと伝えられるように心掛けていきたいと思ひます。

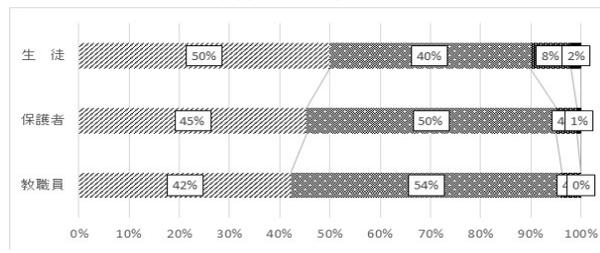
質問5

生徒：先生は、行事や学級活動の中で、学級の仲間が協力し合い、高め合うような機会をつくらせてくれる。
 保護者：桜田中学校は、行事や学級活動の中で、学級の仲間が協力し合い、高め合うような機会をつくらせよう努めている。
 教職員：わたしは、行事や学級活動の中で、学級の仲間が協力し合い、高め合うような機会をつくらせている。

平成29年度



平成30年度

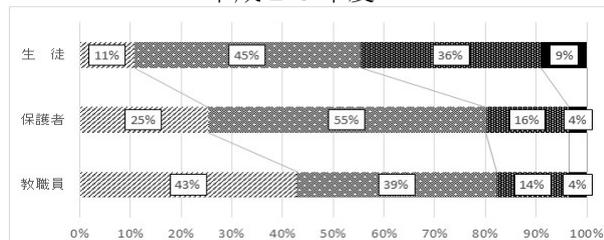


☆ 「あてはまる」と答えた生徒の割合が10%アップしています。行事等の活動の中で、お互いが高め合っているという実感がもてた生徒が増えているのではないのでしょうか。

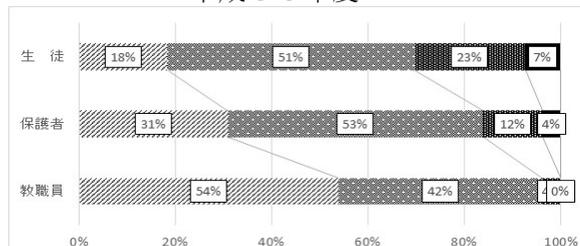
質問6

生徒：桜田中学校は、教室や廊下など清掃の行き届いたきれいな学校だ。
 保護者：桜田中学校は、清掃が行き届いていて、きれいに保たれている。
 教職員：わたしは、清掃が行き届いていて、きれいに保たれるように指導している。

平成29年度



平成30年度

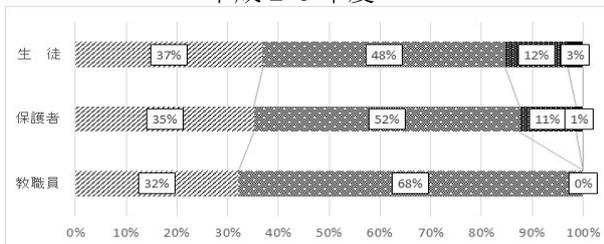


☆ 「清掃が行き届いている」と感じている生徒が13%増えています。ここ数年、本校の重点課題でしたが、徐々に克服されてきています。今後も、清掃への意欲を高めていきたいと思ひます。

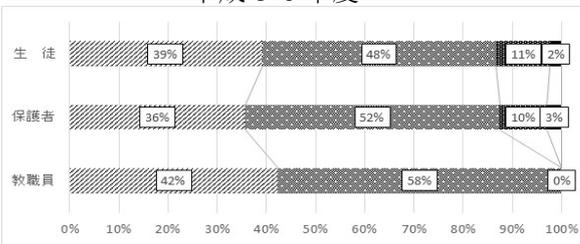
質問7

生徒：わたしは、意欲的に授業に取り組んでいる。
 保護者：わたしの子どもは、意欲的に授業に取り組んでいる。
 教職員：生徒は、意欲的に授業に取り組んでいる。

平成29年度



平成30年度

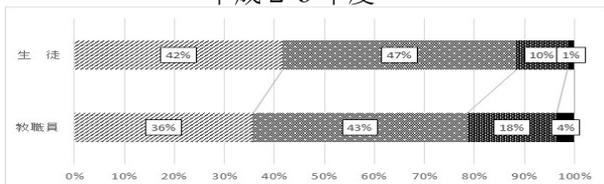


☆ 「意欲的に授業に取り組んでいない」生徒が13%います。意欲的に取り組んでいない原因を探り、全員の生徒が意欲的に授業に取り組むことができるように、授業を改善していきたいと思ひます。

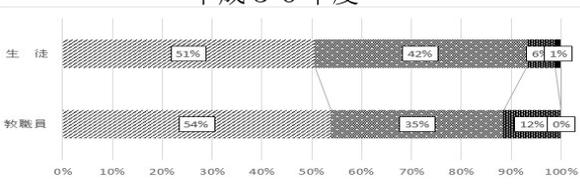
質問8

生徒：わたしは、チャイム始業を意識している。
 教職員：生徒は、チャイム始業を意識している。

平成29年度



平成30年度

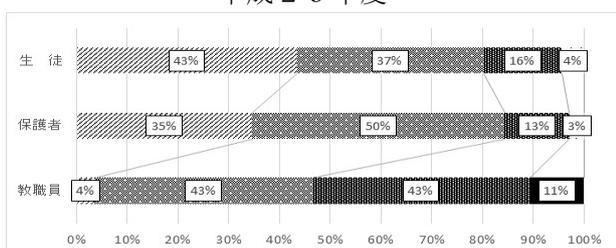


☆ 「チャイム始業」を意識できていると感じている生徒の割合と、教師が感じている割合とのズレが4ポイントあります。もっとできるという教師の期待が込められている結果だと思ひます。

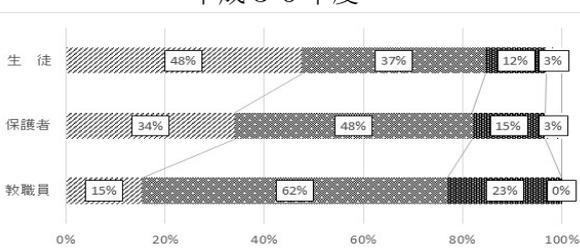
質問9

生徒：わたしは、自分からあいさつしている。
 保護者：わたしの子どもは、自ら進んであいさつしている。
 教職員：生徒は、自ら進んであいさつしている。

平成29年度



平成30年度

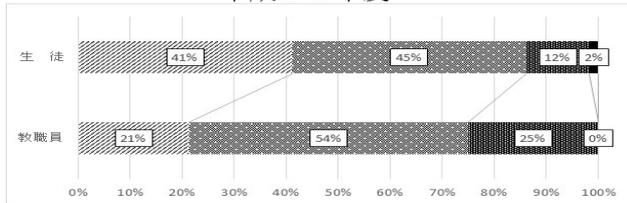


☆ 「あてはまる」と答えた教職員の割合が30%アップし、清掃と同様、本校の重点課題だった「自ら進んで」の挨拶が克服されつつあります。今後も、続けていきましょう。

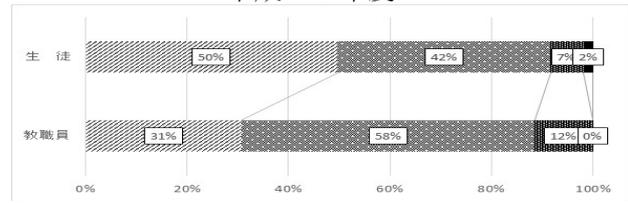
質問10

生徒：わたしは、清掃活動をしっかりと行っている。
 教職員：生徒は、清掃活動をしっかりと行っている。

平成29年度



平成30年度

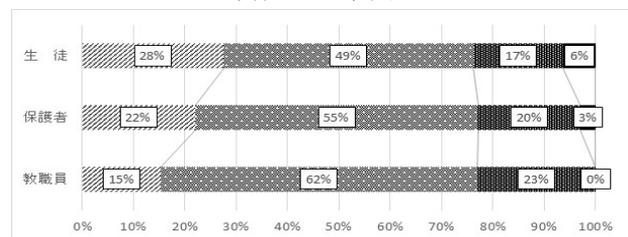


☆ 質問6の結果がよくなったと同様に、清掃活動に取り組む様子もよくなっています。清掃はしっかりと取り組めば、必ず結果となって表れます。学習環境を整えるためにも、今後もしっかりと行いましょう。

質問11

生徒：わたしは、困っている人に声を掛けている。
 保護者：わたしの子どもは、困っている人に声を掛けている。
 教職員：生徒は、困っている人に声を掛けている。

平成30年度

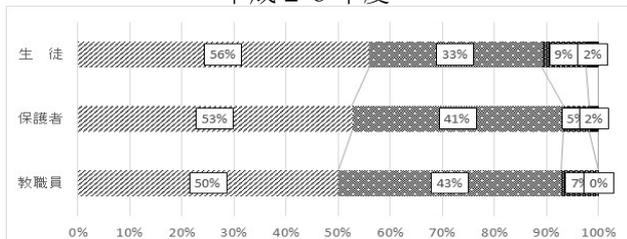


☆ 学校努力点の変更（「温かな心」の追加）に伴い、今年度から追加された質問です。よく「あてはまる」と答えている割合が、生徒>保護者>教職員となっています。もっと周囲に気を配り、「気付いて行動」できるようになってほしいと思います。

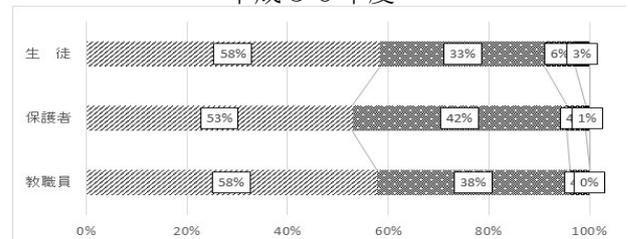
質問12

生徒：わたしは、修学旅行、稲武野外学習、体育大会、合唱コンクールなどの行事に意欲的に取り組んでいる。
 保護者：わたしの子どもは、学校行事に意欲的に取り組み、楽しむことができていた。
 教職員：生徒は、修学旅行、稲武野外学習、体育大会、合唱コンクールなどの行事に意欲的に取り組んでいる。

平成29年度



平成30年度

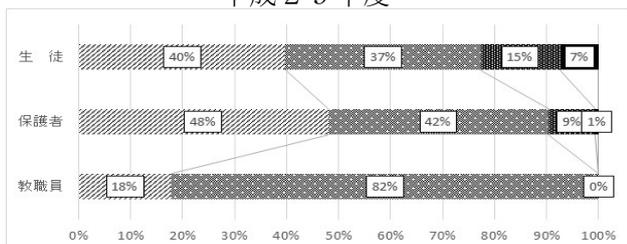


☆ 昨年よりもややアップし高い数値を示していますが、中でも、教職員の「あてはまる」割合が増えています。これは、生徒が意欲的に行事に取り組む姿が増えたという喜ばしい結果だと思えます。

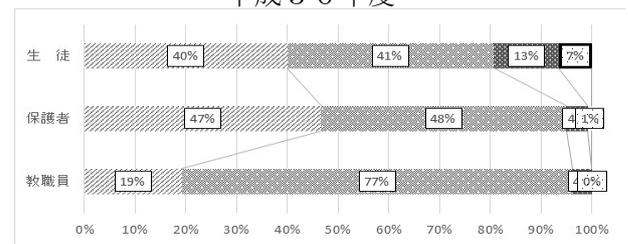
質問13

生徒：わたしは、学校に通うのが楽しい。
 保護者：わたしの子どもは、毎日楽しく学校へ通うことができています。
 教職員：生徒が楽しく学校へ通っていると感じる。

平成29年度



平成30年度



☆ 20%の生徒が「楽しく学校に通うことができていない」と回答しています。保護者・教職員の感じ方とは違っているようです。大人が気付かない「悩み」を抱えていたり、学校生活に目標がなかったりしているのかもしれませんが。生き生きとした学校生活を送ることができるように、サポートしていきたいと思えます。